

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成19年12月3日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費は弱い動きとなっている。

大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を下回った。(9月)

新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、公共工事請負金額は前年を下回った。(10月)

産業面・・・一部に弱い動きが見られるが、おおむね横ばい圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数は季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回っている。(9月)

雇用面・・・一部に持ち直しの動きが見られる。

現金給与総額、所定外労働時間とも前年を上回った。(9月)

求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。(10月)

需要面の動き

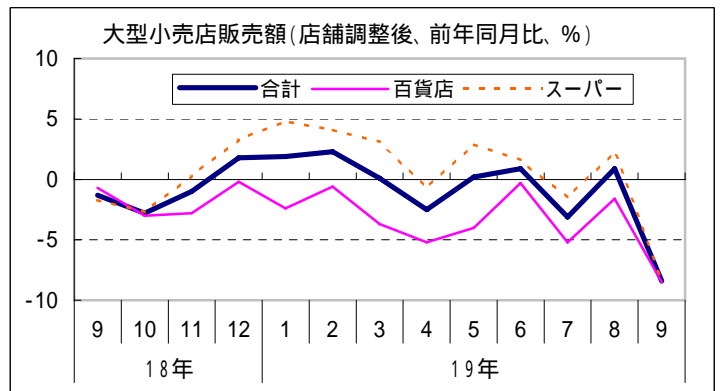
大型小売店販売額(9月)

全店舗の販売額は、47億6,752万円(前年同月比8.4%減)と2か月ぶりに前年を下回り、店舗調整後でも2か月ぶりに前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	476,752	8.4 (8.4)
百貨店	183,047	8.5 (8.5)
スーパー	293,705	8.3 (8.3)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(9月)

29億2,904万円(前年同月比3.6%減)と2か月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(10月)

1,644台(前年同月比3.1%減)と3か月ぶりに前年を下回った。減少の内訳では、軽自動車の減少(前年同月比11.7%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(10月)

258戸(前年同月比27.7%増)と5か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、貸家の増加(前年同月比70.4%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(10月)

48億9,500万円(前年同月比123.0%増)と5か月ぶりに前年を上回った。用途別では、卸売・小売業用(前年同月比1,679.3%増)等が前年を上回った。

公共工事請負金額(10月)

92億2,800万円(前年同月比11.2%減)と4か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、県の減(前年同月比27.2%減)が大きな割合を占めた。

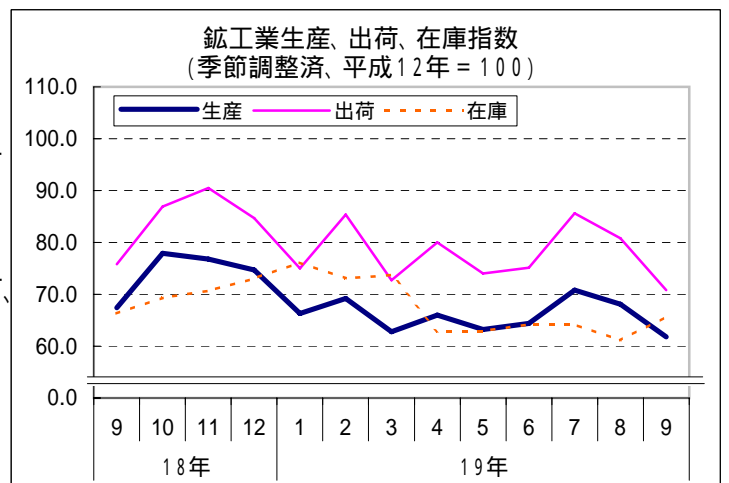
産業面の動き

鉱工業指数(9月)

生産指数(季節調整済)は61.8(前月比9.3%低下)と2か月続いて低下し、原指数は61.6(前年同月比10.7%低下)と9か月続いて低下した。

内訳を前月比でみると、電気機械が通信機械器具等の生産減により12.0%低下、食料品・たばこが0.6%上昇、一般機械が52.7%低下、繊維が7.5%上昇した。

在庫指数(季節調整済)は65.7と前月比7.5%上昇した。



大口需要電力実績(9月)

149,740千kwh(前年同月比3.7%増)と4か月ぶりに前年を上回り、鉱工業はパルプ・紙等が増加し6.7%増加した。

青果物卸売量(10月、鳥取市場)

野菜が1,702t(前年同月比3.7%減)と2か月続いて前年を下回り、果実は1,002t(前年同月比6.8%減)と4か月続いて前年を下回った。

漁獲量(10月、境港)

12,785t(前年同月比17.0%減)と2か月ぶりに前年を下回った。

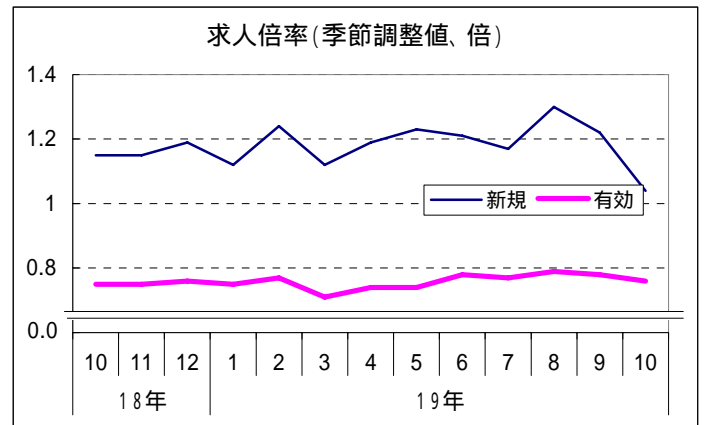
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(10月)

1.04倍(前月差0.18ポイント低下、前年同月差0.11ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、4,372人で前年同月比0.9%の減であった。

有効求人倍率(10月)

0.76倍(前月差0.02ポイント低下、前年同月差0.01ポイント上昇)と9年8か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(9月)

253,653円(前年同月比1.5%増)と3か月続いて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、252,801円(前年同月比1.9%増)で4か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(9月)

9.5時間(前年同月比0.6%増)と4か月続いて前年を上回った。主力の製造業は15.1%減となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比162.0%増)等で前年を上回り、電気ガス水道業(前年同月比16.9%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(9月末)

預金残高は、1兆8,785億円(前年同月比1.7%増)と13か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,461億円(前年同月比1.7%減)と13か月続いて前年を下回った。

参考

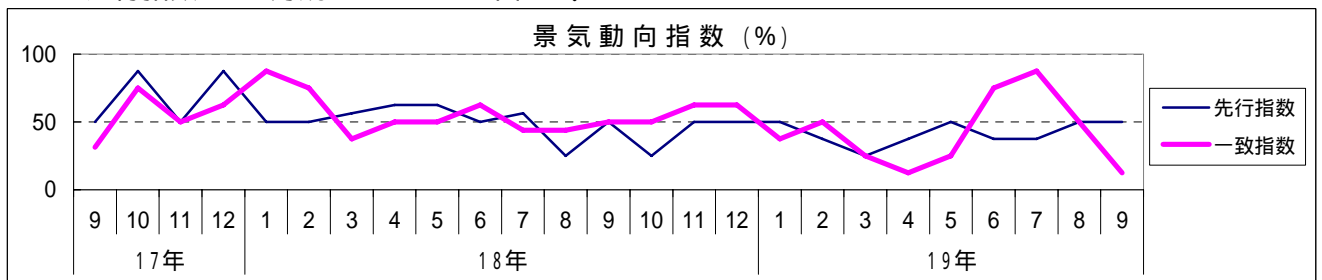
鳥取県景気動向指数(9月)

先行指数50.0%、一致指数12.5%、遅行指数80.0%となった。

先行指数は2か月続いて50%となった。

一致指数は4か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は2か月続いて50%を上回った。



企業倒産(10月)

件数は11件(前年同月比83.3%増)で3か月ぶりに前年を上回り、負債総額も56億6,600万円(前年同月比398.8%増)で3か月ぶりに前年を上回った。

消費者物価指数(10月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.7となり、前月と同水準となり、前年同月とも同水準となった。

鳥取県の推計人口(11月1日現在)

599,911人で、前月と比べて81人(0.01%)増加し、前年同月と比べて4,083人(0.68%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年11月調査)

平成20年1~3月期は、平成19年10~12月期に比べると景気、売上高、経常利益の全てがきわめて不調となる見通しとなっている。